

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		台東デザイナーズビレッジ運営				所管	文化産業観光部 産業振興課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	5	計画事業名	台東デザイナーズビレッジ			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (1) 中小企業の経営革新支援					[事業開始] 平成16年度		
		[施策] ② 創業・起業支援[2]					[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区台東デザイナーズビレッジ条例、同施行規則					
	事業対象	・現入居デザイナー(19事務所) ・卒業デザイナー(57事務所)							
	事業目的	創造的デザインを生み出す拠点として、新進デザイナーの活動を支援するとともに、関連企業との連携や交流を促進し、靴やかばん、アクセサリ等、台東区の地場産業であるファッション雑貨産業を活性化させる。							
事業内容	(1) 創業間もないデザイナーに対し、安価でオフィスを提供 (2) 入居デザイナーに対し、直接的なサポートを行うためのインキュベーションマネージャーの配置 (3) 経営や税務等の相談、セミナー、展示会等の実施 (4) 入居デザイナーを講師とした、区民向けワークショップ等の開催 (5) 卒業デザイナーへの情報提供(台東デザイナーズビレッジ事業や行政支援等)								
委託の有無	一部委託	委託内容	インキュベーションマネージャー(IM)業務、IM補佐業務、清掃業務、機械警備、各種保守点検業務等						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	セミナー、経営相談等の実施	回	5	4	4	4		
		入居事務所数	社	19	19	19	19		
	成果指標	自立企業数・累計	社	71	43	52	57		
		卒業者の区内定着数	社	7	1	6	3		
	決算額	(単位：千円)			22,397	26,199	27,761		
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			13,501	11,662	14,061		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			22,334	26,080	27,650		
		(単位：千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			63	119	112		
		総経費			35,898	37,861	41,823		
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			11,824	11,577	11,363			
	(単位：千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
	一般財源(区負担額)			24,074	26,284	30,460			
前年度から改善した事項	入居審査員に卒業生を1名加えたことで、事業計画や商品開発など経験に即した意見を伺うことができた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	メディアへの露出度は高く、デザイナー支援に特化した施設として広く認知されてきている。毎年、入居希望書は非常に多く、事務所は常に満室である。						
	効率性	3	現状のコスト、人員により、施設の管理および入居企業・卒業企業へきめ細やかな支援を行うことができています。						
	手段の適切性	3	区の直営で運営しているが、入居者の指導・育成はインキュベーションマネージャーに委託するなど、業務に応じて適切な手法を用いている。						
目的達成度	4	施設の知名度向上やインキュベーションマネージャーの指導等により、ほぼすべての企業が入居期間中に業務の拡大、経営の改善等を果たし、自立している。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性		
全国から入居希望者を集めるなど若手デザイナーの登竜門として確固たる地位を築きつつある。また、卒業デザイナーの区内集積は確実に進み、地域イベント「モノマチ」の際には、核施設として多くの来場者を集めるなど、地域の活性化にも大きく寄与している。今後、区南部地域における「ものづくり」のネットワークの拠点となるよう機能強化を図っていく必要がある。							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	